

平成27年度 豊かなむらづくり全国表彰事業

1. 主旨

農山漁村におけるむらづくりの優良事例の表彰を行うとともに、あわせてその業績発表等を行うことにより、むらづくりの全国的な展開を助長し、もって地域ぐるみの連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的に実施

2. 実施主体

農林水産省、公益財団法人日本農林漁業振興会

3. 平成27年度受賞団体(関東農政局管内)

関東農政局管内の都県から推薦された団体のうち、3団体が農林水産大臣賞、2団体が関東農政局長賞を受賞。
また、関東ブロックから最優良事例として農林水産祭むらづくり部門※¹に推薦した団体が天皇杯を受賞。

4. その他

関東農政局管内では、農林水産祭むらづくり部門以外に、畜産部門で栃木県の団体、林産部門で茨城県の団体が天皇杯を、蚕糸・地域特産部門で東京都の団体が日本農林漁業振興会会長賞を受賞。

※¹ 農林水産祭とは、毎年11月23日の勤労感謝の日を中心として、全国民の農林水産業に対する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲の高揚を図るための国民的な祭典で、農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産及びむらづくりの7つの部門並びに女性の活躍に対して表彰を実施。

平成27年度受賞団体

【天皇杯(農林水産大臣賞)】

- ① みよし まちかわごえ しんこうかい さいたまけいいるまぐんみよしまち
三芳町川越いも振興会 (埼玉県入間郡三芳町)

【農林水産大臣賞】

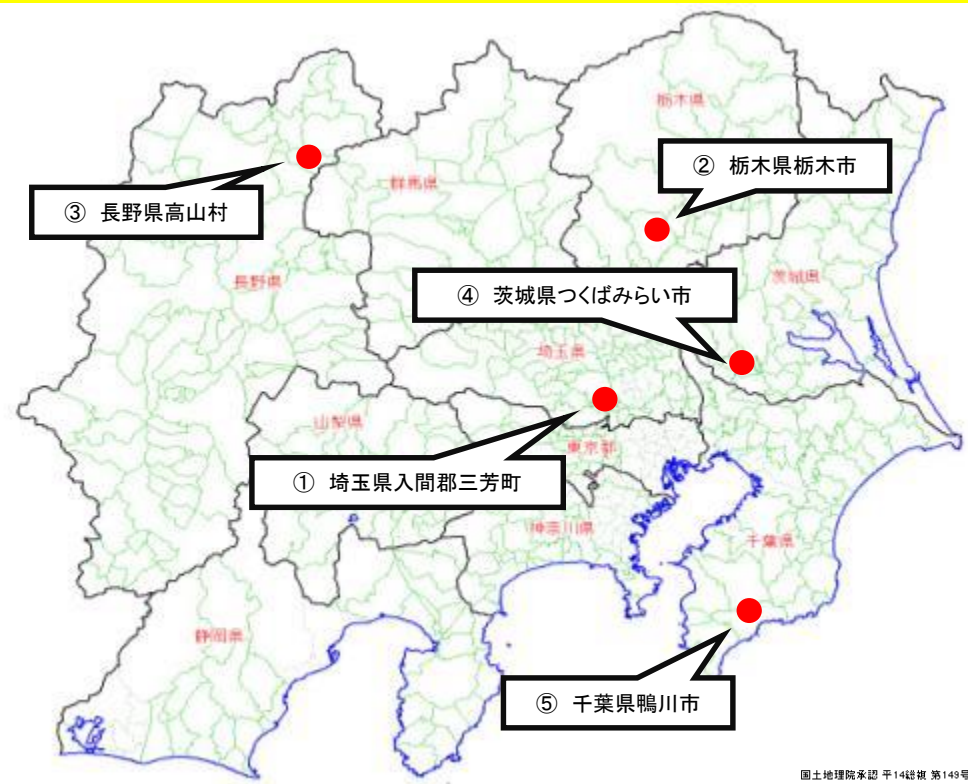
- ② おおがまちく すいしんきょうぎかい とちぎけんとうちぎし
大柿地区グリーンツーリズム推進協議会 (栃木県栃木市)

- ③ たかやまむら けんきゅうかい ながのけんかみたかいくんたかやまむら
高山村ワインぶどう研究会 (長野県上高井郡高山村)

【関東農政局長賞】

- ④ ほうじんふるせ しぜんぶんかまもかい いばらきけん
NPO法人古瀬の自然と文化を守る会 (茨城県つくばみらい市)

- ⑤ かもがわしのうりんぎょうたいけんこうりゅうきょうかい ちばけんかもがわし
鴨川市農林業体験交流協会 (千葉県鴨川市)



平成27年度（第54回）農林水産祭 むらづくり部門 天皇杯（農林水産大臣賞）



【受賞者】 三芳町川越いも振興会

代表 伊東 藏衛

【所 在】 埼玉県入間郡三芳町

【概 要】

振興会の活動する上富地区では、江戸時代中期に開拓され、屋敷地・耕地・平地林の3つに区分された短柵状の地割りにおいて、平地林を管理し、集めた落ち葉堆肥としてサツマイモを栽培する循環型農法が確立しています。

サツマイモについて、商標登録等によりブランド化を図るとともに、ウイルスフリー苗の導入、明治初期に県内で発見された品種「紅赤」の優良系統選抜等によって、品質の向上と収量の増加を実現しています。そして、これらの取組によって農家の経営が安定し、後継者の育成に繋がっています。

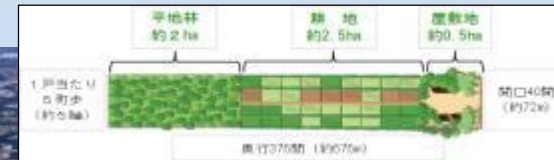
また、企業等との共同により芋焼酎を製品化するなど多様な6次産業化を進めるほか、落ち葉掃きや世界一のいも掘りまつりなど都市住民との交流を積極的に行い、食や農への理解を深めながら循環型農法を守り、農業収益の向上や環境の保全を実現しています。



天皇杯



三芳町川越いも振興会の皆さん

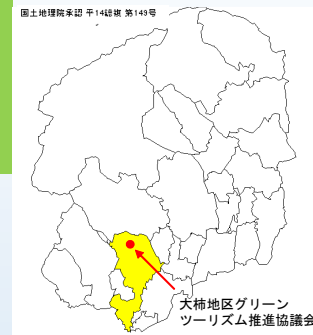


守り継がれた短柵状の地割



サツマイモ(紅赤)と6次化された商品

平成27年度（第54回）農林水産祭 むらづくり部門 農林水産大臣賞



【受賞者】 大柿地区グリーンツーリズム

推進協議会 代表 安生 孝章

【所 在】 栃木県栃木市

【概 要】

推進協議会の設置を契機に、「都賀生出宿里の駅」の農産物直売所及び農家レストランにおいて地元農産物の販売や地元で生産されたそばの提供など、積極的な地元農作物の生産・販売を行い、東日本大震災に伴う原発事故の風評被害による販売額の落ち込みを盛り返しています。

「大柿新そば祭り」などと併せ、ジャガイモ、さつまいも、落花生、ショウガなどの農業体験、農産物オーナー制など、新たな都市農村交流にもチャレンジしています。

また、地区外の構成員で設立された「NPO法人自然史データバンクマニアnet」と連携して栃木市内の小学生を対象とした自然学習体験の実施や、JA女性会「ふる里会」によるいちご大福「おとめのはじらい」の開発・販売により農産物直売所の人気商品となるなど、地区で行ってきた食や豊かな自然を活かしたイベントや環境保全の取組を土台に、住民参加型の分厚い活動が展開されています。



廃校を利用した「大柿コミュニティセンター」



農産物直売所



「おとめのはじらい」



農業体験や環境保全などの地域活動

平成27年度（第54回）農林水産祭 むらづくり部門 農林水産大臣賞



【受賞者】 高山村ワインぶどう研究会

代表 涌井 一秋

【所 在】 長野県上高井郡高山村

【概 要】

研究会では、果樹栽培に適した高山村の自然条件と高齢者でも栽培可能な「ワインぶどう」に着目し、村の新たな特産物による振興を図っており、ワインぶどうの生産面積も設立時から10倍近くまで拡大し、村の耕作放棄地も年々減少するなど、ワインぶどうの栽培が耕作放棄地拡大の抑止効果を生んでいます。

ワインぶどう栽培の技術習得による品質の向上により、村産ワインぶどうで醸造したワインは、国内外のワインコンクールで入賞するなど産地として認められ、平成24年産シャルドネから造られたサントリーの「高山村シャルドネ2012」は、フランスの権威ある国際ワインコンクール「レ・シダレル・デュバン」で金賞を受賞しました。

また、ソムリエや酒販店を交えた勉強会、観光協会との連携イベント、東京等のフェアへの出展、村民や村外者も対象とした試飲会、女子大生による収穫体験など、ワイン文化の定着と発信にも取り組んでいます。



ワインぶどうのほ場



シンポジウムの様子



ワインぶどう展示ほ場

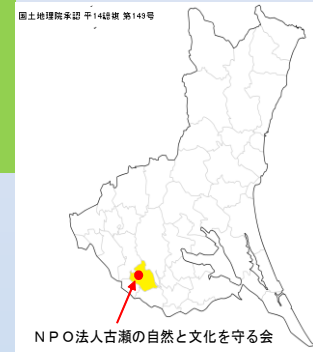


女子美術大生の収穫体験



女性限定ワイン試飲会

平成27年度豊かなむらづくり全国表彰事業 関東農政局長賞



【受賞者】 NPO法人古瀬の自然と文化を守る会

代表 寺田 義雄

【所 在】 茨城県つくばみらい市

【概 要】

本会は、休耕地を活用した地元小学校での農業体験指導をきっかけに、近隣住民との交流、さらには都市住民との交流や自然と文化を後世に伝える活動へと発展し、現在では、都内や近県の住民の参加や、都内の中学校や大学の教育プログラムとしての農業体験の連携など、幅広い地域、分野の人々との活動へと広がっています。

古くから伝わる文化を子供たちに体験し継承して欲しいと、古民家に宿泊する「古民家体験」、さらには、正月の伝統行事である「どんど焼き」や農家に代々伝わる「燈籠作り」などを復活させ、伝統文化の継承や世代間交流にも取り組んでいます。

また、米どころのアピールとして「田んぼアート」や、耕作放棄地を解消するための休耕田への景観作物の植栽、竹やぶの整備などを行い、新たな交流拠点として活用しています。



交流拠点
「古民家
松本邸」と
都市住民
との連携

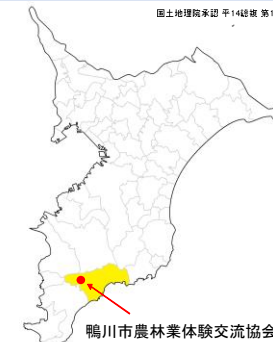


伝統行事の「どんど焼き」
「燈籠作り」

農業体験や地域活性化の取組

平成27年度豊かなむらづくり全国表彰事業 関東農政局長賞

国土地理院承認 平148号 第149号



鴨川市農林業体験交流協会

【受賞者】 鴨川市農林業体験交流協会

代表 田村 政彦

【所 在】 千葉県鴨川市

【概 要】

協会では、年間27万人が訪れ、地域の拠点施設となっている「みんなみの里」を中心に、地元産物のみを取り扱う農産物直売所において、「ちばエコ農産物」への取組の推進のほか、地域ブランドの育成、食育ソムリエの配置や給食への食材提供等を実施しています。

協会の活動により農業体験受け入れの生産法人が誕生したほか、援農から農商工連携まで一体化した地域内循環型の営農支援の仕組みを構築しました。

「お山のぶう飯」などの地元の食材を活かした料理の提供、農村景観などの地域資源の整備など、市民の文化発信の場としても積極的に取り組んでいます。

また、「いきいき帰農者セミナー」の開催により地域の担い手や移住者の定着を支援し、加工場の設置により技術の伝承や情報の共有化など女性の活躍の場を拡げているとともに、ジャンボかぼちゃ千葉県大会を主催し、新たな地域興しイベントとして盛り上がりを見せ、県内外にジャンボかぼちゃの取組みの輪を広げています。



鴨川市総合交流ターミナル施設「みんなみの里」



農産物直売所
とちばエコ農産物



郷土料理等による地産地消の取組や帰農者セミナー